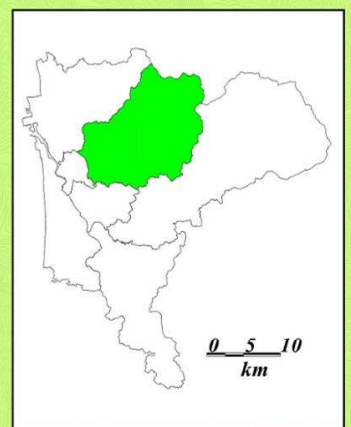


秋田市地震防災マップ

揺れやすさマップ(最大の震度分布図)

東
部
地
域



- 凡 例**
- ◎ 市役所
 - 市民サービスセンター等
 - 🚑 救急告示医療機関
 - 🚓 警察署等
 - 🚒 消防署・出張所等
 - 🛣️ 緊急輸送道路(第1次)
 - 🛣️ 緊急輸送道路(第2次)
 - 🏠 指定避難所
 - 📞 災害時ヘリポート
 - 地域区分線

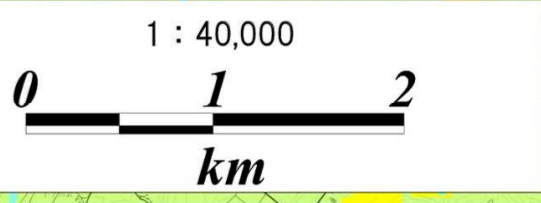
このマップは、秋田市耐震改修促進計画に基づいて、建物の地震による被害を軽減する目的で作成されたものです。マップには、秋田市に影響があると想定される4つの地震について、それぞれ約50m四方の小区域ごとに震度を算定した結果のうち、最大の震度の分布を示したものです。このような地震が発生するわけではありません。

震度階級	揺れ方、被害の例
震度5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまらなると感じる。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。耐震性の低い建物では壁などに軽微なひび割れや亀裂が見られることがある。
震度5強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しい。棚の食器類や本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。耐震性の低い建物では壁にひび割れや亀裂が見られることがある。
震度6弱	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。耐震性の低い建物では壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。建物が傾いたり、倒れるものもある。
震度6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。飛ばされることもある。固定していない家具は倒れるものが増える。耐震性の低い建物では、傾くものや、倒れるものが増える。
震度7	立っていることができない。固定していない家具が飛ぶこともある。耐震性の低い建物では傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

震度6弱、6強については、秋田市内の揺れの特徴を強調するために、「強」「弱」の2段階に細分して表示しています。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)及び基盤地図情報を使用しました(承認番号 平22業使、第207号)



このマップについてのお問い合わせは、**秋田市都市整備部建築指導課** までお寄せください。

